

ビワ生育情報

第 9 報
千葉県農林水産部
令和 4 年 6 月号

6月1日現在の生育は3品種ともおおむね平年並みで、「楠」と「大房」の収穫は5月下旬から始まっています。収量は平年より少ないと予想されます。

果実の発育

6月1日現在のビワの果径を表1に示した。横径は「楠」が4.42cm、「大房」と「田中」は3地区の平均がそれぞれ4.99cm、4.65cmで、「楠」と「大房」は平年並み、「田中」は平年より長かった。

縦径は「楠」が4.72cm、「大房」と「田中」は3地区の平均がそれぞれ5.35cm、5.16cmで、「楠」は平年並み、「大房」と「田中」は平年より長かった。

果形指数は「楠」が0.94、「大房」と「田中」は3地区の平均がそれぞれ0.93、0.90で、「楠」と「田中」は平年並み、「大房」は縦長傾向であった。

着色程度は「楠」が3.9、「大房」と「田中」は3地区の平均がそれぞれ3.8、3.2で、着色の進みは3品種共に平年より早かった。

暖地園芸研究所では、収穫は、「楠」は5月25日、「大房」は5月30日に始まった。本年は12月下旬から2月は平均気温が低く推移したが、3月から4月は平均気温が高く推移したことから、収穫期はおおむね平年並みとなった。

本年は平年に比べ、着花房率はやや低く、寒害の発生もみられた。また、果実は小玉傾向である。病虫害では、果樹カメムシ類の被害が発生している。以上のことから、最終的な収量は平年より少ないと予想される。

表1 果実の発育（6月1日の果径）

| 品種 | 調査地 | 横径(cm) | | | 縦径(cm) | | | 果径指数 | | | 果色 | | |
|----|------|--------|------|------|--------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|
| | | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 楠 | 暖地園研 | 4.42 | 4.43 | 4.86 | 4.72 | 4.78 | 5.49 | 0.94 | 0.93 | 0.88 | 3.9 | 3.2 | 3.7 |
| | 青木 | 4.84 | 4.97 | 5.05 | 5.13 | 5.13 | 5.41 | 0.94 | 0.97 | 0.93 | 3.9 | 3.1 | 3.8 |
| 大房 | 南無谷 | 5.08 | 5.04 | 5.26 | 5.51 | 5.24 | 5.50 | 0.92 | 0.96 | 0.96 | 3.8 | 3.2 | 3.9 |
| | 暖地園研 | 5.05 | 5.07 | 5.18 | 5.40 | 5.15 | 5.49 | 0.94 | 0.97 | 0.94 | 3.7 | 3.1 | 4.0 |
| | 平均 | 4.99 | 5.01 | 5.16 | 5.35 | 5.17 | 5.47 | 0.93 | 0.97 | 0.94 | 3.8 | 3.2 | 3.9 |
| | 青木 | 4.21 | 4.49 | 5.01 | 4.85 | 4.99 | 5.55 | 0.87 | 0.90 | 0.90 | 3.2 | 2.0 | 3.7 |
| 田中 | 南無谷 | 5.09 | 4.47 | 5.24 | 5.50 | 5.00 | 5.74 | 0.93 | 0.90 | 0.91 | 3.4 | 2.0 | 3.8 |
| | 暖地園研 | 4.65 | 4.56 | 5.02 | 5.13 | 5.02 | 5.48 | 0.91 | 0.91 | 0.92 | 3.0 | 2.0 | 3.7 |
| | 平均 | 4.65 | 4.51 | 5.09 | 5.16 | 5.00 | 5.59 | 0.90 | 0.90 | 0.91 | 3.2 | 2.0 | 3.7 |

果形指数：横径／縦径

平年：平成4年～令和3年の30年間の平均

南無谷は平成10年～令和3年の24年間の平均

令和4年5月の気象

令和4年5月の半旬別の気象を表2に示した。平均気温は第3、第6半旬は平年より高く推移し、第5半旬は平年並み、第1、第2、第4半旬は平年より低く推移した。月平均気温は18.1℃で、平年より0.1℃高く、前年より0.6℃低かった。

降水量は第2、3半旬は平年より多く、第1半旬は平年並み、第4～第6半旬は平年より少なかった。月合計は240mmで平年の147%、前年の121%であった。

日照時間は第1、第5、第6半旬は平年より多く、第2～第4半旬は平年より少なかった。月合計は183時間で平年の97%、前年の107%であった。

表2 令和4年5月の気象(暖地園芸研究所)

| 半旬 | 平均気温 (°C) | | | 降水量 (mm) | | | 日照時間 (hr) | | |
|------|-----------|------|------|----------|-----|-----|-----------|-----|-----|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 1 | 15.8 | 16.8 | 16.8 | 22 | 22 | 31 | 43 | 31 | 47 |
| 2 | 16.7 | 17.2 | 18.3 | 28 | 24 | 15 | 19 | 30 | 32 |
| 3 | 18.7 | 17.4 | 18.1 | 134 | 33 | 33 | 14 | 29 | 25 |
| 4 | 17.2 | 18.1 | 20.1 | 16 | 23 | 58 | 23 | 30 | 8 |
| 5 | 18.8 | 18.8 | 19.7 | 16 | 26 | 8 | 37 | 31 | 21 |
| 6 | 20.8 | 19.3 | 19.4 | 25 | 35 | 55 | 46 | 36 | 38 |
| 平均/計 | 18.1 | 18.0 | 18.7 | 240 | 163 | 199 | 183 | 188 | 171 |

平年：1991～2020年の30年間の平均

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

7月の作業

7月に入り梅雨が明けると、本格的な夏を迎える。収穫後に弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んになるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けた草刈り、敷き草や、カミキリムシの防除がある。

草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておく、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きはよくなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するのはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また、食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので、注意を要する。成虫は産卵のために、7～8月に現れるので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。卵は見つけ次第つぶす。防除に際しては千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所特産果樹研究室 電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>